

大きくなるのが楽しみです。

～野菜・いもうえ～

今回は、学年通信「なごみ」でお伝えしきれなかった子どもたちの姿を紹介します！

2年生になってからは、野菜を育てています。ミニトマト、ピーマン、オクラ、ナス、キュウリなど、一人一人が好みの野菜を選びました。野菜を育てるには、子どもたちの持っている植木鉢では小さいため、土が20Lは入る大きな鉢・樽で育てています。

一人に一つ大きな鉢があるので、苗を植えるために土を入れる作業も大変でした。アサガオやビオラのときとは比べものにならないくらい重たい。2～3人がかりで、土入れを終えました。そんな苦労をしながら植えた野菜には、愛着がわいてきたようです。

最近では、さわったり、におったり、自分の手と大きさを比べてみたりしながら、野菜の生長を観察しています。

「キュウリのはっぱは、上から見るとみどりだけど、下から見ると黄みどりだ！」

「オクラのはっぱは、ギザギザのものと丸いものがある！」

「トマトのはっぱからは、もうトマトみたいなにおいがするよ。」

「はっぱに毛が生えていて、ふわふわして気持ちがいいな。」

「いたいと思ったら、こんなところにとげがある。」

次々見つかる新たな気付きを楽しみに、毎日話しかけている子もいます。収穫の日が待ち遠しいです。



そして先日は、しののめの森の奥にある畑にはサツマイモを植えました。環境支援の先生方が、イラストや実演を交えながら丁寧に手順を説明してくださいました。サツマイモを植えた後は、畑の案内をしてもらったり、質問に答えていただいたりしました。普段は直接関わる機会が少ない先生方との活動も、子どもたちは新鮮で楽しい時間になったようです。

